

“ふるさとを愛し、夢に向かって たくましく生きる子ども”



# 広野っ子



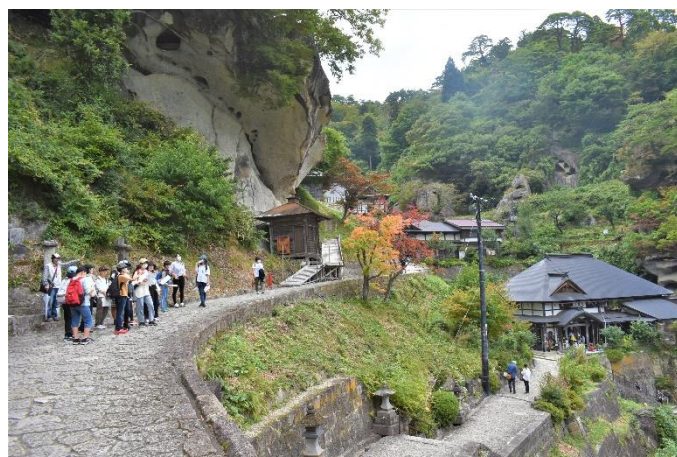
酒田市立広野小学校便り

令和3年10月15日

## 充実した修学旅行になりました。

10月7・8日、天気にも恵まれ（初日は快晴、2日目も雨はほぼ降りませんでした）、6年生が置賜・村山方面に一泊で修学旅行に行ってきました。例年は、震災の学習から防災やまちづくりについて考えることをメインテーマに仙台松島方面への旅行を行っていますが、今年度は夏休みあたりから新型コロナウイルス感染が全国的に増え、それに伴い東北各県も感染状況が悪化してきたため、8月下旬の段階で県外への旅行は断念しました。その時点では県内への旅行も実施可能かどうか不透明な状況でしたが、9月中旬以降県内の感染者が激減したこともあり、一泊での修学旅行が可能と判断しました。6年間の小学校での生活の中でも思い出に残る大きな行事です。まずは無事に終わることができてよかったと思います。

今回の修学旅行では県内の古代からの歴史や産業について実物を体験しながら学ぶことが大きな目的となっています。実物を見なければわからなかったこと、感じ取れなかったことなどをたくさん吸収してきました。広い遊園地で学年全員で遊んだことも、あと半年弱で卒業の6年生にとっていい思い出になったことだと思います。引率した教頭が、バスでの移動時間等を使ってほぼリアルタイムで学校のブログに写真を掲載しておりますので、ご覧になった方もいらっしゃると思いますが、何枚か以下に写真を載せます。修学旅行の雰囲気を感じ取っていただければ幸いです。



# 特別授業「アフリカをもっと知ろう」

9月28日、5年生と6年生を対象に特別授業「アフリカをもっと知ろう」と題してJICA東京本部と山形デスクと学校の3箇所をZoomで繋いで、アフリカの現状についてリモートでの講話をいただきました。新聞にも紹介されたのでご存知の方もいらっしゃると思います。新聞ではこの日1日のことのように書かれていますが、実はここに至るまでは昨年度からの大きな流れがありました。

昨年度から、本校では授業の中で折りに触れてSDGsと関連づけながら学習を進めていたこともあり、昨年度の後半には1年生でも普段の会話の中に「SDGs」という言葉が聞かれるようになっていました。ご家庭でもSDGsが話題になっていて、保護者の方々から勤務先で取り組んでいるSDGsに関連した情報も寄せられるようになっていきました。その中で、ユニクロ三川店様に勤務する保護者の方から「届けよう、服のチカラプロジェクト」という着なくなった子供服を集めて国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）を通じてアフリカの難民に贈るキャンペーンをご紹介いただきました。今年度の5、6年生が児童会を中心にこの活動に取り組むことになりました。1学期には店長はじめ3名の方に来校していただき、企業としての取り組みや難民の存在について講話をしていただいております。その中で、自分たちが服を贈るアフリカについてさらに知りたいという声があり、国際協力機構（JICA）東京本部の加藤隆一上級審議役と山形デスクの小野玲氏にリモートで講話をいただくことになりました。9月15日には事前学習を行い、両氏への質問事項をまとめました。それを整理して両氏にお知らせしたうえ本番を迎えるという、長い時間をかけて進んできた大きな取り組みの一環だったわけです。



事前学習の段階から子どもたちはアフリカの人々の現状に思いを寄せ、リモート授業を経て、自分の生活と比較したり、自分がアフリカに住んでいたらどうだったか想像したりと自分事として捉えることができました。「食べ物を大切にしなければならなかった。」「毎日学校に行くことができたり、電気を自由に使うことができたりするのは幸せだと思わなければならない。」「平和な国で生きていることを幸せと思い、自分の命も他人の命ももっともっと大切にしたい。」という感想が見られました。小さな学校から世界を変える第一歩は「正しく知る」ことだと思います。講話の中でもそんなお話をさせていただきました。これからも地域に根差しながら視野を世界に広げる力を育てていきたいと思っています。

**今回の講話もそうですが、6年生はもともと修学旅行でお世話になるはずだった「きずなFプロジェクト」の瀬成田実先生からもリモートで講話をしていただきました。Zoomなどによるリモートの講話は便利だし、これから広がっていく方法だと思っています。うまく使っていきます。**